



— Special Feature —

暮らしが 便利に、快適に

【相馬福島道路 伊達桑折IC～桑折JCT間開通】

国土交通省が工事を進めていた、東北中央自動車道（相馬福島道路）伊達桑折インターチェンジ～桑折ジャンクション間が8月2日に開通しました。相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの道路。自動車専用道路の無料区間であり、東日本大震災からの早期復興を図るプロジェクトとして位置づけられています。本道路が整備されることで、被災地と内陸部の連携が強化され、被災地の復興を支援することから、早期の全線開通を目指して工事が進められています。

今後、今年度末に予定している霊山IC～伊達桑折IC間が開通すると、相馬IC～桑折JCT間の相馬福島道路が全線開通することになります。桑折町から相馬市への移動は約35分短縮となり、災害時の緊急輸送道路としての役割のほか、広域観光の活性化も期待されます。また、周辺道路と工業団地へのアクセス性も向上し、さらなる産業の集積や発展も見込まれます。今回の開通に合わせて、「(仮称)国道4号IC」が「伊達桑折IC」に名称決定しました。この他にも、開通区間には、「桑折JCT

T」桑折JCT料金所「桑折高架橋」と多くの構造物に「桑折」の名称が使われています。これも、「相馬福島道路の早期完成等を求める桑折町民総決起大会」の会員の皆さんをはじめ、全町民の思いが一つとなった要望活動の成果です。道路開通をきっかけに、桑折町の知名度向上への期待も高まります。開通に先立ち、7月23日、現場見学会が行われ、亀岡偉民衆議院議員をはじめ、福島河川国道事務所より福島陽介事務所長、小波尊宏前事務所長らが駆け付けました。

